

『加茂八幡宮』

加茂八幡宮は、入野松原のほぼ中央、大方あかつき館の隣に位置し、入野東浜にあります。

慶長4(1599)年頃、八幡宮と加茂神社の合祀により加茂八幡宮となったと考えられています。

棟札に「八幡宮本願安藤家貞、慶長四年奉新造立 八幡宮加茂大明神両社一字云々」と記されています。



※昭和47(1972)年大方町文化財指定。

■加茂神社

加茂神社の祭神は、高鴨阿治須岐託彦根命です。

神社は、延喜式神名帳の幡多3社の一つであり、社殿はもともと入野加茂屋敷にあったものが遷宮されました。

※延喜式神名帳とは、延長5(927)年にまとめられた延喜式の全国の神社一覧表。記載された神社は式社などといい、一種の社格となっています。

■八幡宮

八幡宮の祭神は、応神天皇と神功皇后です。

京都岩清水八幡宮よりの勧請(神仏の分霊を他の場所に移しまつること)で、もとは入野早咲地区八幡原にありました。

■宝永の大地震

宝永4(1707)年10月の大潮の時(宝永の大地震)、社殿が石口を離れて浮き上がりましたが、潮が引くに從って元の柱石に座り、異常が無かったといえます。

また、ご神体は伊田浦の漁師の

釣り船にかかって上がったといわれ、祭礼には伊田浦の漁師の参加を待つて行われたとの言い伝えがあります。

■行事

古くには田楽舞・流鏑馬・子踊・花取り・ねり・相撲・神楽などが行われました。その日には、毎年鹿持(加持)村山党明神の神輿が来て、三位一体におなばれ(祭礼や渡御)が行われたそうです。

【現在の行事】

1月 歳徳焼き

1月15日前後の土、日

お正月に使った門松やしめ縄、お守りなどを焼き、この火で焼いたお餅を食べると1年間健康でいられるとの言い伝えがあり、たくさんの人で賑わいます。

7月 夏祭り

7月第3日曜日

子踊・花取り・神輿などがあり、境内での出店もあり、親子連れなどで賑わいます。

10月 秋祭り

10月第3日曜日

子踊・花取り・神輿の他に、最近では珍しくなった流鏑馬があり、大勢の人で賑わいます。

結婚の記念撮影

最近では、結婚記念写真の撮影を、洋装姿であかつき館、和服姿で加茂八幡宮で行っているカップルをたくさん見かけます。



○このシリーズに関するお問い合わせ

教育委員会 文化振興係(大方あかつき館内)

☎43-2110(直通)